

げんの和清 活動レポート

新年度予算編成にあたり 市長へ政策を提案

福祉、健康をはじめとする新年度の政策提案を実現するために、所属会派で予算要望を山野市長へ。



若者が抱える課題を探る

新妻ひでき参議院議員(参議院文教科学委員会)とともに若い方々と懇談。直面する課題についてお聞きしました。奨学金制度や子育て支援、働き方について活発な意見交換を行いました。



程駐日中国大使を迎えて

程永華中国大使(写真中央)をお迎えしての会合で、中国の程永華駐日大使と懇談し、日中友好の深化を誓い合いました。

※駐日中国大使を歴代最長の9年3カ月にわたって務めた程氏は5月に離任されました。



地域のまちづくりへ市政報告会

地元の皆さんへ、市政の現状、地域の将来像などを報告させていただきました。



げんの和清 <メールアドレス> genno@m3.spacelan.ne.jp

市議会控室

〒920-8577 石川県金沢市広坂1丁目1-1
TEL 076-220-2406 FAX 076-233-8819

自宅

〒920-8217 石川県金沢市近岡町108-7
TEL 076-255-0899

知っておくと便利な
「お役立ち」情報

法テラス コールセンター

いじめ相談 24時間子供SOSダイヤル

ねんきんダイヤル

おなやみなし
☎0570-078374
なやみ言おう
☎0120-0-78310
☎0570-05-1165

令和元年 春号

げんの和清



市議会だより

平成30年度3月定例会議会

▶ ホームページもご覧ください。

<http://www.komei.or.jp/km/kanazawa-genno-kazukiyo/>

▶ フェイスブックを始めました。

<https://www.facebook.com/GennoKazukiyo>

げんの和清

検索



中小企業を支援し地域経済の発展を 安心して子育てできる環境の充実へ



金沢市議会議員選挙は4月21日に投開票が行われました。私自身は3期目となる新たな任期の負託をいただき、引き続き皆さまの声にこたえられよう頑張っております。改選後初めて開催された臨時議会で常任委員会等の選出が行われ、新たに経済環境常任委員長に選出されました。産業、観光、農林水産業をはじめ、環境保全、廃棄物の問題を中心に皆さまの直面する課題や問題の解決と、行政施策の充実を求めてまいります。

これに先立ち平成31年3月に開催された市議会3月定例会議会では、中小企業支援策、子育て環境の推進などについて質問しました。

質問と答弁の要旨は次のページ。

子育て世代を応援する政策を 金沢港周辺の交通機能強化図れ

■主な質疑は次の通り

中小企業支援策をどう考える

源野 生産性の向上、働き方改革など中小企業支援策をどのように考えているのか。考え方を示せ。

山野之義市長 2019年度はAIやIoTなどの先端技術を導入し業務の自動化や効率化を図る中小企業への支援制度を新たに設ける。若者や女性の従業員を非正規から正規雇用に変換した事業主に対し、国の助成制度に引き続き、奨励金を支給するとともに、職場環境の改善をはじめとした働き方改革への対応を支援するアドバイザー制度を創設するなど、中小企業の労働環境の整備を支援する。

保育士の確保へ 処遇改善を

源野 金沢市民が安心して子育てできる環境を作るという思いを実現するために保育エリア別にみる課題について所見をうかがう。保育士の就業の継続と離職防止を図る新規事業を示せ。

山野市長 保育需要の増加に対応するために、施設整備とあわせ、保育士の確保が大切になってくる。保育士の宿舍の借り上げ、保育業務補助者に対する支援制度を新設し、2019年度予算案に盛り込んでいる。保育需要の多い駅西・臨海地区では、2020年4月の開所に向け、保育施設の開設事業者の公募を行い、審査中である。

西川和昭保健局長 近年の利用申し込みの状況から、駅西・臨海地区や西部地区の保育需要の上昇が顕著であり、保育の確保は急務である。現在、策定中の次期子ども子育て支援事業計画にて、適切な教育、保育の必要量の見込み等を算出、確保を図っていく。

市議会3月定例月議会では、次の点について金沢市の取り組みや考え方を質しました。

- 1 地域経済活性化について
- 2 中小企業支援策について
- 3 文化施設の多言語化について
- 4 高校生WASHOKUグランプリについて
- 5 保育の確保策について
- 6 北前船寄港地の日本遺産登録について
- 7 金沢港周辺の公共交通について



金沢港周辺の公共交通の充実図れ

源野 現在の公共交通体系は金沢駅を中心に放射線状となっている。今後、金沢港から金沢駅までを基幹とする公共交通の強化が図られるとするならば、金沢港－金沢駅間の基幹路線にアクセスする公共交通ネットワークをあわせて検討すべきである。金沢港周辺地域の公共交通ネットワークをどのように考えているか。

山野市長 金沢港の交通結節機能の強化やパーク・アンド・ライドの普及拡大を進めるとともに、地域のニーズを把握しながら、交通事業者と連携、協力し、バス路線網の再編について検討を進める。生活に必要な公共交通が不便な地域においては、地域住民が主体で運営するコミュニティバス等の支援制度を拡充し、新たに公共交通重要路線に接続する場合に補助率をかさ上げすることとした。

北前船寄港地、今後の活動は

源野 北前船寄港地として栄えた金石・大野地区は今でも港町の風情を漂わせながら、魅力あるまちとして、市民のみならず、観光客に親しまれている。北前船については、文化庁の日本遺産、北前船寄港地・船主集落にて本市も文化庁に登録申請しているが、日本遺産認定を機に、北前船ブランドを通じた地域間交流について所見を示せ。

山野市長 北前船日本遺産推進協議会が金沢市を含む7市町を追加登録として、1月25日、山形県を通じて文化庁に提出した。大野町こまちなみ保存区域や金石こまちなみ保存区域を含め、栗崎八幡神社奉納絵馬額面など、金沢市指定文化財、石川県指定文化財の計10点とした。北前船日本遺産推進協議会の広域ネットワークを活用し、ほかの自治体とも連携を図り、寄港地特有の文化の情報発信、地域間交流に努めていく。

※5月20日、文化庁は北前船ゆかりの日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落」に、金沢市を含む7市町の文化財を追加認定しました。